



鈴っ子

山形市立鈴川小学校 学校だより

令和7年7月18日(金)

第4号 校長 鈴木 伸治

運動会を進化させる～「スポーツフェスティバル」へ～

子どもたちにとって、運動会は紛れもなく大きな行事の一つです。仲間と競い合い、自分の運動の力をさらに高めることができる機会でもあり、同じ組が勝利をめざして一つになる連帯感や協力することの大切さが学べるよさが運動会にはあります。私自身、子どもたちと一緒に汗を流し、勝った・負けたと一緒に涙を流した若いときがありました。

しかし、そのよさを十分わかった上で、本当に運動会は価値ある行事、子どもたちに力をつけることのできる行事なのかと、あえて自己否定してみました。

運動会が近くなるにつれ顔色が曇り学校を休みがちになってしまうお友達がいる事実から、そもそも体を動かす楽しさを味わうことが第一義の運動会になっているのだろうか。また、周りの大人が、子の成長を願うあまり叱咤激励の声が大きくなってはいなかったかと。また、そうした大人の期待に応えようとがんばったにも関わらず、そこまで到達できずに自己肯定感が下がってしまった子はいなかったのだろうか。はたまた、応援団の言うことさえ聞いていけばいいやと、どこか他人ごとだった子はいなかったのだろうか。

考えれば考えるほど、これまでの運動会のマイナス面が見えてきました。

そこで今年度、運動会を進化させるべく、「スポーツフェスティバル」と名称を変え、本来の目的を達成すべく見直すことにしました。もちろん子どもたちは、そのような経験もないので、時間を見つけて、5・6年生にスライドをもとに、お話し

(一部抜粋)

1 そもそもなぜ・・・

- ◎体を動かす楽しさを知る
- ◎友だちと協力する大切さを知る
- ◎集団行動がとれるようにする

学習指導要領（先生の教科書）では・・・運動に親しむ態度の育成、責任感や連帯感の涵養、体力の向上などに資するようにすること

スポーツは楽しいよと思うはずの運動会が、ある子にとっては苦痛を感じるものになっていないか。運動会がきっかけで、いじめられたりかけ口を言われたりするものになっていないか。



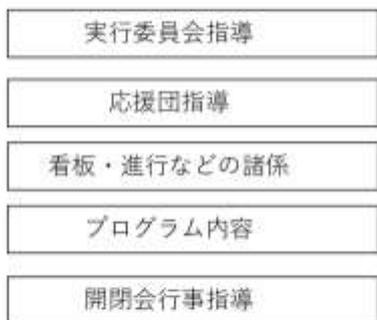
少々嫌なことがあっても、それを乗り越えることが人生の学びであり、勝つという目標をめざして団結して、たとえ負けても努力することこそが大切だ！という意見

ーしかし、度が過ぎると・・・

強者の論理（弱音を吐くな、負けないように頑張れ、嫌なことは乗り越えなければならない）にならないか

2 これまでの運動会

だからそうならないように、応援団の活動を自分たちでやったり、練習も友だちを応援することが大事だよと、先生方は教えてきた（はず）



予想されうる枠組みの中で子ども達を活躍させてきた。時間的制約などもあり当然だった。

しかし、そうした手立てをとったにもかかわらず、**そもそものねらいは達成できていたのか**という疑問や反省

- ・みんなが体を動かすことが好きになった？
- ・みんなが協力するようになった？
- ・みんなが集団行動できるようになった？

だからこそ今、これまでの運動会をみんなの力（主に高学年）で進化させるべく、スポーツフェスティバルへ・・・

やめるのではなく、進化する（くらしをつくる）（チャレンジする）

3 これからのあり方（みんなに、こうなってほしい！という願い）

(1) 主体性（企画・運営力）

- ・自らの思いを実現していく
- ・違う意見の他者と対話で解決を図っていく

(2) 多様性への配慮

- ・みんながスポーツ（体を動かすこと）を好きになる
- ・自他の違いを認めていく

(3) レジリエンス

- ・あきらめない
- ・折れても立ち上がる

予測困難な時代において、
なんらかの問題が生じたとき、
他と対話して、多様性を認めながら
より良く問題を解決していく力

×誰かの言うことに従っておけばいい ×自分だけ良ければいい ×勝てば正義（負けた人が悪い）

4 具体的に

先生もみんなもはじめてのこと →みんなの力を信じている！（困ったら相談して。「ともに」）

これまでの運動会を
わくわくするスポーツフェスティバルに
自分たちで変えていく！

- ・もちろんこれまでの運動会を参考に
してよし
- ・ネットで調べてもよし

ミッション（これだけは）

- ①あくまでも自分たちでやる。
- ②自分の考えだけを主張しない。
相手の考えにも耳を傾ける。
- ③困ったときは調べたり、先生や友だちに聞いたりする。
- ④時間は決められているので守る。
- ⑤1～6年、いろんな人（運動が苦手、話すのが苦手、集団行動が苦手など）がいると思うけど、みんながやって良かったあ、楽しかったあ、またやりたいなあと言えるようなスポフェスづくりに挑戦する

今回、このような思い・願いのもと運動会あらため「スポーツフェスティバル」へ進化させようと思っています。

そこで、お家の方・地域の方に予めお伝えしなければならないことがあります。それは、「立て板に水が流れるような運動会」「周りから見て見栄えのする運動会」ではなくなるだろうということです。それでもなお、子どもたちが本来の目的（どの子どもも体を動かすことが好きになる）を達成しようと、試行錯誤しながら「スポーツフェスティバル」の成功に向けてチャレンジしていく姿を応援したいと思っています。



8月の行事予定



25日（月）いのちの日

26日（火）職員会議・不審者対応研修

27日（水）2学期始業式・全校給食なし
山形大学教育実習（～9/17）

28日（木）個別学級校外学習（科学館）

夏季休業中の学校閉校日

8/9（土）～8/17（日）

上の期間は、学校に職員がおりませんので、予めご了承ください。

子どもたちの日々の頑張り（学習など）を、学校ホームページでお知らせしています！

どうぞご覧ください。

<https://www.suzukawa-e.ymgt.ed.jp/>

